

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 693 号	氏名	大町 いづみ
学位審査委員	主査	大園 恵幸	
	副査	増崎 英明	
	副査	東 登志夫	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、わが国での急速な高齢化社会の終末期ケアで重要な「希望する最期の場所」に影響する要因について明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 長崎県在住 65 歳以上の高齢者 178 人に対し、自記式質問紙により希望する最期の場所に影響する要因に関して、個人属性、健康状態、主観的健康観、ソーシャルキャピタル指標について質問を行った。解析は、最後の場所の希望を自宅群、自宅以外群に区分し、2 群間の関連を χ^2 検定さらには多重ロジスティック回帰分析などの統計学的解析法で解析したもので研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、男性は、女性より自宅での最期を希望し終末期の介護を配偶者へ依存する傾向があること、さらに自宅希望群では、主観的健康観が高いこと及びボランティア・市民活動への参加が要因として関連していることを明らかにし、今後の終末期ケア研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は、高齢者終末期医療研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			